



健康づくり通信

長崎県は健康長寿日本一を目指しています！

第204号 令和3年12月
長崎県北保健所
長崎県平戸市田平町里免1126-1
TEL:0950-57-3933 FAX:0950-57-3666
ホームページ
<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kenkodukuri/kenkozukuri-kenhoku/>
※イラストは転載禁止

～今月のテーマ～

新型コロナウイルス感染症対策のための家庭ごみの捨て方

新型コロナウイルス感染者やその疑いがある方が使用したティッシュやマスク、オムツ等のごみには鼻水や痰、排せつ物などが付着している可能性があります。

これらのごみが一般家庭から出された場合は従来どおり家庭ごみ（一般廃棄物）として扱われますが、適切な方法でごみが排出されることは、ごみの排出者だけでなく、ごみの収集や処分をおこなう作業員の感染防止にも有効です。

このため、以下に記載する【ごみの捨て方】に日頃から留意して接触感染による感染拡大の防止に努めましょう。



【ごみの捨て方】

①ごみ袋をしっかり縛って封をすること

（廃棄物が散乱せず、収集運搬作業においてごみ袋を運びやすくなる。）

②ごみ袋の空気を抜いて出すこと

（収集運搬作業においてごみ袋を運びやすくするとともに、収集車内での破裂を防止できる。）

③生ごみの水切りをすること

（外出自粛を受けて家庭からの廃棄物の量が増加しがちであるところ、廃棄物の量を減らすことができる。）

④廃棄物の減量に努めること

（外出自粛を受けて家庭からの廃棄物の量が増加しがちであるところ、廃棄物の量を減らすことができる。）

⑤自治体の分別・収集ルールに沿うこと

（作業員が本来する必要のない分別作業を行うことに伴う感染リスクをなくすことができる。）

※ごみに触れた後、捨てた後には必ず手を洗いましょう。

※新型コロナウイルスは、約72時間程度で感染力がなくなるとされているため、日数を置いてごみを排出することも感染予防につながります。



なお、新型コロナウイルス感染者やその疑いのある者が使用したリネン類については、「家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」(令和2年3月1日厚生労働省)を参照の上、体液で汚れていないリネンについては手袋とマスクを着用して一般的な洗剤等で洗濯して完全に乾かすようにするなど感染防止策を講じた上で再利用に努め、むやみに捨てないようにしましょう。



参考：廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（令和3年6月改定 環境省）

新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのごみの捨て方

— 家庭ごみを出すときに心がける5つのこと —

その1 ごみ袋は
しっかり縛って
封をしましょう!

ごみが散乱せず、
収集運搬作業において
ごみ袋を運びやすく
なります。



その2 ごみ袋の
空気を抜いて
出しましょう!

収集運搬作業において
ごみ袋を運びやすくし、
収集車での破裂を
防止できます。



その3 生ごみは
水切りを
しましょう!

ごみの量を
減らすことが
できます。



その4 普段から
ごみの減量を
心がけましょう!

購入した食品は食べきるなど、ごみを出さない
ことも大切です。家庭での食事機会が増える中、
料理を楽しみながら、できることがあります。

環境省の「[食品ロスポータルサイト](#)」
をご覧ください。▶▶▶



その5 自治体の
分別・収集ルールを
確認しましょう!

粗大ごみの持ち込みを停止している場合や、
資源物の分け方・出し方が
普段と異なる場合があります。
また、マスクなどごみのポイ捨ては
絶対にやめましょう。



新型コロナウイルスなどの感染症の感染者又はその疑いのある方の使用済みマスク等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方やその疑いのある方がご家庭にいらっしゃる場合、
鼻水等が付着したマスクやティッシュ等のごみを捨てる際は、以下のことを心がけてごみを出しましょう。

**①ごみ箱にごみ袋をかぶせ、
いっぱいにならない
ようにしましょう!**

ごみは、いっぱいになる前に
早めに出しましょう。



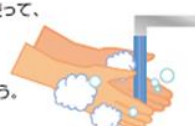
**②ごみに直接触れることの
ないよう、しっかり縛って
出しましょう!**

ごみは、空気を抜いてから
しっかり縛って出しましょう。
万一、ごみが袋の外面に触れた
場合や、袋が破れている場合は、
ごみ袋を二重にしてください。



**③ごみを捨てたあとは
しっかり手を
洗いましょう!**

石けんを使って、
流水で
手をよく
洗いましょう。



以上の点に気を付けてごみを出していただくことが、ご家族にとっても、
ごみを収集・処理する作業員にとっても、ごみの円滑・安全な収集・処理を行う上で大切な行動です。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

